



## 教 育 目 標

かしこく  
やさしく  
たくましく

令和7年11月28日  
忍路中央小学校  
忍路中学校  
学校だより8号  
本庄 有希子



忍路小中HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

### 右手と左手

校長 本庄 有希子

この後期から生徒会・忍路っ子委員会のメンバーが新しくなり、赤い羽根やユニセフの募金活動、オープンスクール紹介動画づくりなどに取り組み、学校は新たな活気に満ちています。新生徒会の目標は「みんなと一緒にあって、忍路の良さや魅力を生かして、仲の良い学校をつくりあげていく」、新忍路っ子委員会は「協力しながらテキパキ行動し、みんなが気持ちよく過ごせるような学校にしよう」です。この2つの目標は、まさに本校の教育目標である『やさしく』そして『自分にも相手にもやさしく、よりよい学校をつくろうとする子』という目指す子ども像そのものです。

ここで今回は私たちが毎日使っている右手と左手の話です。

ある朝、洗面所で顔を洗っている時のことです。歯磨きをしている右手がふと横を見ると、左手はだらりと下に垂れて何も動いていません。「あれ、僕はこんなに働いているのに……」右手は左手のことが気になりました。それから学校に行きました。授業が始まり、黒板の文字を書き始めたその時です。鉛筆を握った右手がふと横を見ると、左手は机の上にあるだけで何も動いていません。「僕は一生懸命黒板の字を写しているのに……」右手はちょっとぼやきました。給食の時、そっと横を見ると左手はお茶碗を握っています。右手は少し安心しました。ところが、よく見ると、左手は全然動いていないのです。「やっぱり動いているのは自分だけ。これは不公平だ……」右手は大いにぼやきました。

ところがある日、左手はヤケドをして、しばらく動けなくなりました。朝起きて、顔を洗おうとした時です。右手だけでは、水がすぐえません。チューブから歯磨き粉を出すのもひと苦勞。右手は包帯に包まれた左手をそっと見ました。勉強の時間も困りました。書くときにノートがするする動いて、うまく書けません。右手は今まで左手がノートを押さえてくれていたことに気がつきました。給食の時も大変でした。右手だけではお盆も持ちにくいし、ご飯を食べる時も前かがみ。とても窮屈です。「左手は僕を支えてくれていたんだ」右手は左手にすまないと思いました。やがて左手のヤケドが治りました。今では右手と左手は、協力し合って生活しています。

本校のような少人数の小中併置校では、全員が生徒会・忍路っ子委員会の活動に携わり、一人ひとりが右手の役目も、左手の役目も担い、時にはその役割を交替しながら、文字通り「みんなと一緒にあって」学校生活を築いています。前面に出て活動をする人も、その活動を裏で支える人も、集団にとって欠かせない大切な存在です。生徒会・忍路っ子委員会の新しい活動も、目に見える形でのリーダーシップだけでなく、日常の目立たない場所での『やさしく』が基盤となっています。

子どもたちは、自分たちが主役となって、この話の右手と左手のように、お互いの存在を尊重し、助け合いながら、素晴らしい学校を作り上げています。この『やさしく』の精神こそ、本校の宝です。



## 小学校 赤い羽根共同募金

11月11日(火)から13日(木)の3日間、忍路っ子委員会が中心となり、赤い羽共同募金活動に取り組みました。毎朝、担当の忍路っ子委員が、大きな声で募金を呼びかけました。小学生はもちろん、中学生や先生方もたくさん募金をしてくれました。先日、忍路っ子委員長と副委員長が蘭島郵便局に入金しに行きました。募金額は、全校集会で発表する予定です。

12月15日(月)からは、中学校の生徒会を中心にユニセフ募金活動が始まります。



## 忍路小中学校公開研究会

11月21日(金)に、本校の公開研究会を実施しました。中学校1年A組、数学科の授業を公開し、校内外の多くの先生に参観いただきました。ICTを活用して見通しをもたせるなど教師が生徒に丁寧に関わる姿、生徒が課題解決に向けて真剣に考える姿を見ることができました。

今後も一人ひとりが、見方、考え方を働かせ、主体的、協働的に学び合う、「子どもが主語」となる授業づくりに全校で取り組んでいきます。



## ☆児童・生徒の活躍☆

本校では、いじめやネットトラブルの根絶を目指し、全校で『絆づくりメッセージコンクール』に作品を提出しています。

今年度、後志管内小学校団体の部で奨励賞に入選しました。

『ありがとう 励ましあって 褒め合おう』

11月8日(土)に行われた小樽音読カップでは、本校児童が小学校高学年の部で銀賞を受賞しました。

☆小樽音読カップ 「たすねびと」

小学校高学年の部 銀賞

第3回小学生スマブラ王決定戦において、地区代表決定トーナメントを勝ち進み、9月21日(日)に行われた決勝トーナメントで本校児童が優勝しました。

☆第3回小学生スマブラ決勝トーナメント優勝

小樽市青少年読書感想文コンクールにおいて見事、入賞・入選しました。入賞者の表彰式は12月20日(土)に行われます。

☆小樽市青少年読書感想文コンクール

小学生：入賞 中学生：入選

小樽文学館学生短歌コンクールにおいて、生徒の作品が佳作に入賞しました。

『御神輿の鳴る笛の音響く中』

体温計の三十九度』

令和7年度自由研究作品展において、児童の作品が学芸員推薦作品に選ばれました。作品は、総合博物館にも展示されました。

☆令和7年度自由研究作品展 学芸員推薦作品

※12月1日(月)以降の全校集会で、表彰式を行っていく予定です。

## 小中第1回合同遊び

11月14日(金)の昼休みに、生徒会主催の小中第1回合同遊びが体育館で行われました。第1回目の遊びは「ドッジボール」。

小中学生混合チームで、2回戦行いました。2回戦目は、左手投げルール(中学生男子のみ)も追加され、お互い汗びしょりになりながら、楽しい時間を過ごしました。

「中学生と遊ぶのは楽しかった。」「小学生相手に、本気で投げられなかった。」などの感想も寄せられました。生徒会企画の合同遊びは、今後も開催予定です。次は、どんな遊びをするのか今から楽しみです。



## 地域学習発表会があります

12月5日(金)10時40分から、本校体育館で地域学習発表会が行われます。

小学校3・4年生は「蘭島川探検について」、5・6年生は「忍路・蘭島の歴史と自然について」、中学生は「忍路の漁業について」学んだことを発表します。

小学生が描いたウニの殻剥き体験の絵画も展示されています。

事前申し込みは、必要ありません。当日、受付にてお名前をご記入いただきます。学校にはスリッパはありますが、できるだけ上履きをご持参ください。

終了予定時刻は、12時10分となっております。たくさんの保護者、地域の皆様のご来校、ご参観お待ちしております。